

長崎県西彼杵郡時津町

生産の効率化と高品質化を推進 航空機向けブッシング製造に強み

1999年に橋本商会の製造部門から独立。プレス加工部門においては主に電磁鋼板を使用し、モーター及び発電機の鉄心の打抜き加工や、付属部品の製作を行い、機械加工部門においては、CNC旋盤及びマシニングセンターを中心に部品の製作を行っている。航空機向けのブッシング製造に特化した強みを持ち、20年以上の実績がある。高精度な加工技術を用いた高付加価値部品を多品種少量から多量まで幅広く供給している。

●所在地	長崎県西彼杵郡時津町西時津郷1000-135	●設立	1999年
●電話/FAX	095-882-5181/095-882-7658	●資本金	7,250万円
●URL	https://www.pn-kiden.co.jp	●従業員数	32人
●代表者	代表取締役 橋本 進		



早期の製造着手や複合加工機導入等による自社の競争力強化

あえてメーカーを揃えた複合加工機を導入し、オペレーションの画一化を行ったことで、従業員による操作効率が向上し、当初は月産品目が100個程度であった生産力を、1日で生産できるまでに向上させている。また、合せて効率的な運用のためのプログラム管理を徹底することにより、ゆがみが生じにくい加工等品質管理を追求し、多量生産と品質保全の両立を実現させている。約20年前から今後成長が見込まれる航空機産業に参入し、以来蓄積されてきたブッシング製造に係るノウハウは他社の追随を許さず、高付加価値の部品を多量に納入できる体制を整えている。



ブッシング

主要取引先と連携した調達・保管方法の効率化

素材調達スキームでは、「機体整備会社の発注後、特殊合金メーカーから材料が届くまでのタイムラグ」、「材料到着後の在庫管理の手間」といった問題点が存在している。当該問題点を改善するため、三者間でスキームの変更を行い、同社内の敷地に特殊合金メーカーの委託倉庫を設置することで、問題点を解決している。この在庫管理業務の低減により、生産部門により多くの人員を配置できるようになり、またタイムラグ低減により、生産量の計画的な平準化、納入の早期化を実現している。



敷地内の倉庫の様子

社内制度導入による少数精鋭型の製造現場の構築・維持

製造過程において従業員に複数の工程を経験させることで、従業員全員が工程の流れを総合的に理解して多能工となるようにジョブローテーションを導入している。この仕組みにより、業務の相互補助が可能となり、休暇が取りやすい風土が確立されている。また、独自の力量認定制度、業務改善に係る社内表彰制度等を導入することで、従業員の意識とやる気が向上し、生産効率の向上に加え、離職率の低下も実現している。



製造現場の従業員たち